

## 第6章 APWの書式の処理

APWの書式の処理機能を使用して、ファイルの中の書式一覧表（リスト）を見ることができます。このリストから次のような処理を行うことができます。

- 1 書式の作成
- 2 書式の印刷機能の変更
- 3 書式のコピー
- 4 書式の削除
- 5 書式の印刷機能の表示
- 6 書式の合成
- 7 書式一覧表の印刷

注：DFLAPW(書式一覧表表示)コマンドの代わりに、APWの書式の処理を使用して下さい。

### 6.1 APWの書式の処理画面の使用方法

APWの書式の処理画面を表示するには、多機能漢字印刷ユーティリティのメニュー画面で、3を選択して実行キーを押して下さい。次の画面が表示されます。

APWの書式の処理

選択項目を打鍵して、実行キーを押して下さい。

書式ファイル .....	<u>APWFILE</u>	名前
ライブラリー .....	<u>APMLIB</u>	名前 . =LIBL =CLRLIB
書式 .....	<u>=ALL</u>	名前 . =ALL 総称 =

F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取柄し

次の情報を各プロンプトに入力して下さい。

書式ファイル プロンプト：

処理したい書式が入っているファイル名を打鍵して下さい。

ライブラリー プロンプト：

処理したい書式を含む書式ファイルが入っているライブラリー名を打鍵して下さい。次のものがこのプロンプトに対して指定できます。

ライブラリー名： 処理したい書式を含む書式ファイルが入っているライブラリー名を打鍵して下さい。

\*LIBL: ジョブのライブラリー・リストの中で、書式ファイル・プロンプトに指定されたファイルを含んでいる最初のライブラリーが使用されます。

\*CURLIB: ジョブの現行ライブラリーが使用されます。現行ライブラリーが指定されていない場合は、QGPLライブラリーが使用されます。

書式・プロンプト:

処理したい書式の名前または、ファイルの中の書式のサブセット基準を指定して下さい。

次のものがこのプロンプトに対して指定できます。

書式名: 処理したい書式の名前を指定して下さい。

\*ALL: 指定した書式ファイルの中の書式すべてを意味します。

総称\*(総称名): アスタリスク(\*)で修飾された書式の部分名を指定して下さい。同じ部分名を持つ書式が画面に表示されます。

これらの情報を打鍵してから実行キーを押して下さい。次の画面が表示されます。

APWの書式の処理

書式ファイル..... APWFILE      書式..... ALL  
 ライブラリー..... APWLIB      位置指定.....

オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。  
 1=作成 2=変更 3=コピー 4=削除 5=表示 9=合成

OPT	書式名	用紙長	幅	長さ	CPI	IGCPI	LPI	変更日
-	APWLS01	110	132	66	10	5	6	04/29/92
-	APWLS02	110	132	66	10	5	6	04/27/92
-	APWLS03	110	132	66	10	5	6	04/28/92

終了

オプション1, 9のパラメーターまたはコマンド  
 \*\*\*>

F3=終了 F4=アップ F5=再表示 F6=リストの印刷 F9=コマンドの複写  
 F11=他項目の表示 F12=取消し F17=変更日順

画面上部のライブラリー、書式ファイル、そして書式プロンプトを変更することにより、リストの内容を変更することができます。

位置指定のプロンプトに、書式名またはその部分名を指定することにより、リストの表示位置を変更することができます。リストは、指定されたストリングで始まる最初の書式名に位置指定されます。

## 機能キーの使用方法

つぎの機能キーをAPWの書式の処理画面で使用してください。

F3: 終了

多機能漢字印刷ユーティリティのメニューにもどります。

F4: プロンプト

オプション1 (CRTAPWコマンド)、オプション9 (MRGAPWコマンド) またはコマンドライン上に打鍵されたコマンドのプロンプト画面を表示します。

F5: 再表示

表示されている画面を、最新の情報とともに再表示します。

- F6: リストの印刷  
書式のリストを印刷します。このとき、リストのサブセットは画面上部で指定したサブセット基準と同じです。
- F9: コマンドの複写  
最後にコマンド・ラインから入力したコマンドを表示します。
- F11: 項目の表示  
次のようにリスト中の書式の他の情報を表示します。

APWの書式の処理

書式ファイル . . . . . APWFILE      書式 . . . . . =ALL  
ライブラリー . . . . . APWLIB      位置指定 . . . . . \_\_\_\_\_

オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。  
1= 作成   2= 変更   3= コピー   4= 削除   5= 表示   9= 合成

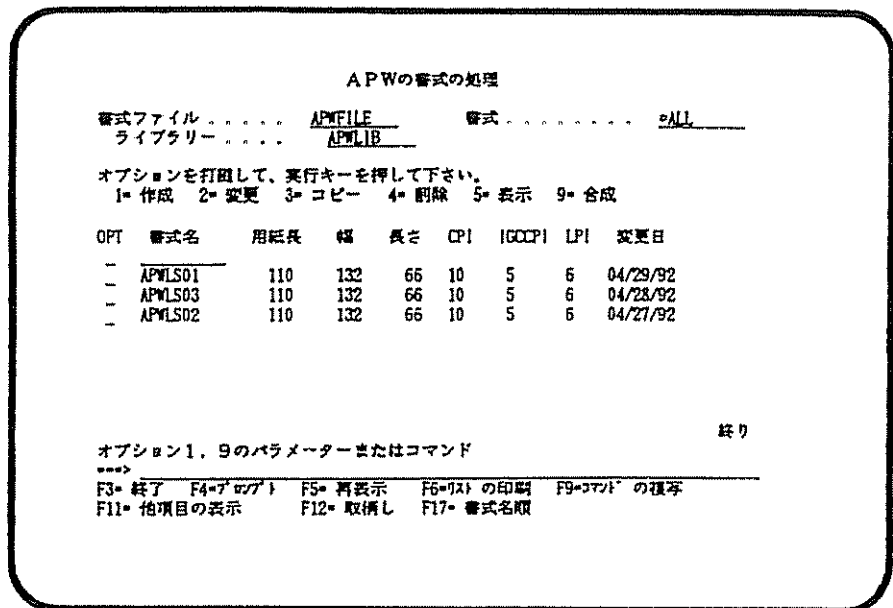
OPT	書式名	原始 ライブラリー/ファイル	メンバー	テキスト
-	APWLS01	APWSRCLIB /FORMSRC	APWLS01	サンプル
-	APWLS02	APWSRCLIB /FORMSRC	APWLS02	注文 リスト
-	APWLS03	APWSRCLIB /FORMSRC	APWLS03	住所 リスト

終り

オプション 1, 9のパラメーターまたはコマンド  
====>

F3= 終了   F4=アウプ   F5= 再表示   F6=リストの印刷   F9=コマンドの複写  
F11= 他項目の表示   F12= 取消し   F17= 変更日順

- F12: 取消し  
前の画面に戻ります。
- F17: 変更日順、書式名順  
書式を分類する方法を変更します。現在の分類方法が書式名順の場合、この機能キーを一度押すことにより分類方法が最終変更日順に変更されます。再び押すことにより書式名順になります。
- 次の画面は最終変更日順に書式リストが分類されている例です。



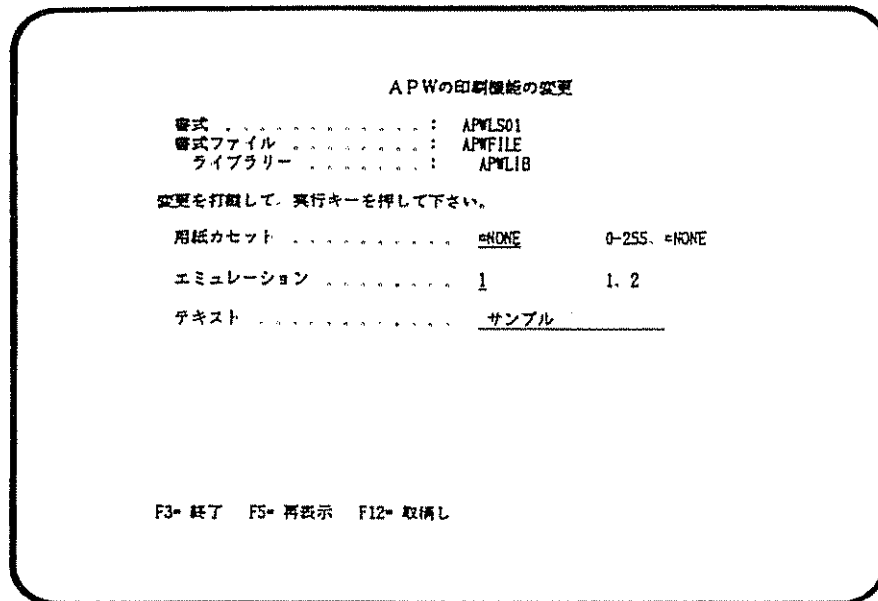
## オプションの使用法

次のオプションが選択できます。

- 1=作成      新しい書式を作成します。書式リスト最上部の書式名の欄に、作成する書式の名前を打鍵して下さい。CRTAPWコマンドのプロンプトが表示されます。(詳しくは3-2ページの3.1.『CRTAPW (書式作成) コマンド』を参照して下さい)
- 2=変更      既存の書式を変更します。
- 3=コピー    既存の書式をコピーします。
- 4=削除      既存の書式を削除します。
- 5=表示      既存の書式の印刷機能の中でCRTAPWコマンドのパラメーターとして指定されたものを表示します。
- 9=合成      書式とスプール・ファイルのデータをMRGAPWコマンドを使用して合成します。(詳しくは5-2ページの5.1.『MRGAPW (書式合成) コマンド』を参照して下さい)

## 6.2 印刷機能の変更

APWの書式の印刷機能の幾つかをAPWの印刷機能の変更画面を使用して変更することができます。APWの書式の処理画面で書式名の隣のOPT欄に2を指定し実行キーを押すと、次の画面が表示されます。



画面上部のライブラリー、書式ファイル、そして書式は印刷機能の変更をするために選択された名前です。

次の表はこの画面で変更することができる印刷機能とその有効な値を示しています。

用紙カセット	0-255 *NONE: 用紙カセットを使わない
エミュレーション	1 または 2 この印刷機能は、選択された書式にDRAWR.DRAWRC または AMIKAKE印刷機能が指定されていない場合には表示されません。
テキスト	テキストを入れてください。

それぞれの印刷機能の初期値は、選択された書式の現在値です。なお、使用にあたっては、ADDPFM(物理ファイル・メンバー追加)コマンドとRMVM(物理メンバー削除)コマンドの使用権が必要です。

### 6.3 書式のコピー

APWの書式をAPWの書式のコピー画面を使用してコピーすることができます。APWの書式の処理画面で、コピーしたい書式の隣のOPT欄に3を打鍵して下さい。複数の書式を一度にコピーできます。実行キーを押すと、次の画面が表示されます。

APWの書式のコピー

書式ファイル . . . . . : APWFILE  
ライブラリー . . . . . : APWLIB

書式の受入れファイル名とライブラリー名を打鍵して下さい。

受入れ書式ファイル . . . . . : APWFILE 名前  
受入れライブラリー . . . . . : APWLIB

コピー先の書式名を変更する場合は新書式名を打鍵して、実行キーを押して下さい。

書式	新書式名
APWLS01	<u>APWLS01</u>
APWLS02	<u>APWLS02</u>

F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取消し

終了

注: 上の画面は2つの書式に対してコピー・オプションを指定した場合の例です。

次の表は画面上のプロンプトの説明です。

- 書式ファイル: コピーもとの書式を含んでいるファイル名
- ライブラリー: コピーもとの書式ファイルを含んでいるライブラリー名
- 受入れ書式ファイル: コピーされた書式を受入れる書式ファイル名
- 受入れライブラリー: 受入れ書式ファイルを含んでいるライブラリー名
- 書式: コピーもとの書式名
- 新書式名: 新しくコピーされて作成される書式名

受入れライブラリー、受入れ書式ファイル、新書式名の各入力プロンプトは、コピーもとのそれぞれと同一の値を含んで表示されます。コピー先のプロンプトを変更して実行キーを押して下さい。なお、使用にあたっては、CPYF(ファイル・コピー)コマンドの使用権が必要です。

新書式名に指定された名前と同一名の書式またはメンバーが既に受入れ書式ファイルに存在する場合には、次の確認画面が表示されます。

APWの書式のコピー

```

書式ファイル . . . . . : APWFILE
ライブラリー . . . . . : APWLIB

書式の受入れファイル名とライブ
受入れ書式ファイル . . . . . :
受入れライブラリー . . . . . :
コピー先の書式名を変更する場合
書式      新書式名
APWLS01   APWCOPY1
APWLS02   APWCOPY2

```

書式コピーの確認

新書式名に指定した次のメンバーは、すでに存在しています。

```

メンバー . . . . . : APWCOPY1
ファイル . . . . . : APWFILE2
ライブラリー : APWLIB

```

既存のメンバーを削除し コピーを行うためには、実行キーを押してください。

コピー操作を取り消すためには、F12= 取消しを押してください。

F12= 取消し

F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取

受入れファイル中の既存の書式またはメンバーを削除した後、新しい書式をコピーして作成する場合には、実行キーを押して下さい。ただし、RMVM(物理メンバー削除)コマンドの使用権が必要です。

既存の書式またはメンバーを新しい書式で置き換えたくない場合には F 1 2 キーを押してコピー処理を取り消して下さい。

## 6.4 書式の削除

APWの書式を削除するには、APWの書式の処理画面で、削除したい書式の隣のOPT欄に4を打鍵して下さい。

複数の書式を一度に削除できます。実行キーを押すと次の画面が表示されます。

書式削除の確認

```

ファイル . . . . . : APWFILE      ライブラリー . . . . . : APWLIB

```

削除の選択項目を確認後、実行キーを押して下さい。  
 選択項目を変更するためには、F12= 取消しを押して戻ってください。

OPT	書式名	用紙長	幅	長さ	CPI	IGCPI	LPI	変更日
4	APWLS02	110	132	66	10	5	6	04/27/92
4	APWLS03	110	132	66	10	5	6	04/28/92

終り

F11= 他項目の表示 F12= 取消し

注: 上の画面は2つの書式に対して削除オプションを指定した場合の例です。

この画面上には、削除オプションが指定されたすべての書式が確認の為にリストされます。削除する書式名を確認後実行キーを押して下さい。書式が削除されます。もしリスト中に、削除したくない書式が存在する場合にはF12キーを押し、削除処理を取り消して下さい。なお、使用にあたっては、RMVM(物理メンバー削除)コマンドの使用権が必要です。

## 6.5 印刷機能の表示

APWの印刷機能の表示画面では、書式の印刷機能のうちで、作成時に原始メンバーによって指定されたもの以外の印刷機能を表示することができます。印刷機能を表示するためには、APWの書式の処理画面で、表示したい書式の隣のOPT欄に5を打鍵して下さい。実行キーを押すと、次の画面が表示されます。

A P W の 印 刷 機 能 の 表 示	
書式	APWLS01
書式ファイル	APWFILE
ライブラリー	APWLIB
原始ライブラリー/ファイル	APWSRCLIB /FORMSRC
原始メンバー	APWLS01
用紙長	110
書式幅	132
書式長	66
1インチ当たりのSBCS文字数	10
1インチ当たりのDBCS文字数	5
1インチ当たりの行数	6
SO/SI	*YES
フォントスタイル	*DFLT
文字セット	*DFLT
用紙カセット	*NONE
エミュレーション	1
印字方向	V
印刷位置制御	*USER
作成日	04/29/92

F3=終了 F12=取消し 戻る...

A P W の 印 刷 機 能 の 表 示	
最終変更日	04/29/92
テキスト	サンプル

F3=終了 F12=取消し 終了



注:

1. 原始ライブラリー/ファイル、原始メンバーの項は、書式がバージョン2 リリース2 モディフィケーション0以前のAPWにより作成された場合、ブランクが表示されます。
2. エミュレーションの項は、書式にDRAWR、DRAWRCまたはAMIKAKEコマンドを使用していない場合、ブランクが表示されます。

## 6.6 書式リストの印刷

A PWの書式の処理画面で表示中の書式のリストを印刷することができます。A PWの書式の処理画面でF 6 キーを押して下さい。次のような形式で印刷されます。

書式リスト		書式リスト	
書式ファイル	書式	書式ファイル	書式
573BAP1 VZRSMD 1:MMDD	多読読用印刷エディタリナー (APW)	APWLIB	/APWFILE
		MM/DD/YY	HH:MM:SS
書式ファイル	: APWFILE	書式	: *ALL
ライブラリー	: APWLIB		
書式	: APWLS01	原始ファイル	: FORMSRC
用紙長	: 110	ライブラリー	: APWSRCLIB
用紙幅	: 132	原始メンバー	: APWLS01
書式長	: 66	SD/SE	: *YES
SBCS文字のCPI	: 10	フォント スタイル	: *DFLT
DACS文字のCPI	: 5	文字セット	: *DFLT
1ライン毎の行数	: 5	用紙のセット	: *NONE
印字方向	: *DEV	印刷位置制御	: *AUTO
作成日	: 04/29/93	エミュレーション	: 1
最終変更日	: 04/29/93	テキスト	: *デフォルト
書式	: APWLS02	原始ファイル	: FORMSRC
用紙長	: 110	ライブラリー	: APWSRCLIB
用紙幅	: 132	原始メンバー	: APWLS02
書式長	: 66	SD/SE	: *YES
SBCS文字のCPI	: 10	フォント スタイル	: *DFLT
DACS文字のCPI	: 5	文字セット	: *DFLT
1ライン毎の行数	: 5	用紙のセット	: *NONE
印字方向	: *DEV	印刷位置制御	: *AUTO
作成日	: 04/27/93	エミュレーション	:
最終変更日	: 04/27/93	テキスト	: *デフォルト
書式	: APWLS03	原始ファイル	: FORMSRC
用紙長	: 110	ライブラリー	: APWSRCLIB
用紙幅	: 132	原始メンバー	: APWLS03
書式長	: 66	SD/SE	: *YES
SBCS文字のCPI	: 10	フォント スタイル	: *DFLT
DACS文字のCPI	: 5	文字セット	: *DFLT
1ライン毎の行数	: 5	用紙のセット	: *NONE
印字方向	: *DEV	印刷位置制御	: *AUTO
作成日	: 04/29/93	エミュレーション	:
最終変更日	: 04/29/93	テキスト	: *デフォルト